

質 問 回 答 書

令和 5 年 1 1 月 2 9 日

件 名 上尾伊奈ごみ広域処理施設建設に伴う環境影響評価業務発 注 者 上尾伊奈資源循環組合 管理者 畠山 稔担 当 者 池田電 話 番 号 0 4 8 - 6 5 8 - 9 4 7 1Eメールアドレス keiyaku@aisj.or.jp

| 番号 | 公告 ページ | 仕様書 ページ | 図 面 番 号 | 質 問 事 項 | 回 答 |
|----|-------------|------------|------------|---|---|
| 1 | p.1 2(1) | | | 最低制限価格を設定するとなっておりますが、何% になりますか。 また金額価格はいくらになりますか。 | 最低制限価格は、上尾伊奈資源循環組合建設コンサル タント等業務最低制限価格取扱要綱に基づき設定して いる。事前公表は行わない。 |
| 2 | p.3 5(4) | | | 業務実績は過去 1 0 年間とは契約日または完了日のど ちらが期間内に入ればよろしいでしょうか。 | 業務実績における「受注し、かつ、完了させた実績」に ついては、完了日が期間内に入っているものを実績と して取り扱う。 |
| 3 | p.3 5(4) | | | 業務実績について過去 1 0 年間に受注し、かつ、完了さ せた実績とは、受注年と完了年が両方とも過去 1 0 年間 に入らないといけないのですか。 | |
| 4 | p.3 5(4) | | | 業務実績については民間元請も実績に入りますか。 | 業務実績については、地方公共団体が発注した実績と する。 |
| 5 | p.7 7(7) | | | 事後審査時に実績が認められない場合は、何らかの 処置対象になりますか。その処置対象はどのような ことになりますか。 | 事後審査時に入札参加資格がないと認められる場合 は、上尾伊奈資源循環組合条件付一般競争入札実施要 綱第 1 1 条第 5 項に基づき、入札参加資格不適格通知 書により入札参加資格がない旨を通知するのみであ る。 |

| 番号 | 公告 ページ | 仕様書 ページ | 図 面 番 号 | 質 問 事 項 | 回 答 |
|----|-----------|-------------------|----------------|---|---|
| 6 | | 代価表No.10 (1/3) | | 上層気象調査におけるその他消耗品について、「ヘリウムガスを含む」とありますが、現在ヘリウムガスが入手困難な状況のため、代替として使用可能である水素ガスにて調査を行ってよろしいでしょうか。 | 設計においては、ヘリウムガスでの算出とする。なお、実際の調査方法については発注者と受注者との協議により決定することとする。 |
| 7 | | 代価表No.10 (2/3) | | 一般環境大気質調査と沿道環境大気質調査は、各季同一期間に行わなくても宜しいでしょうか。 | 同一期間に行うことを想定している。 |
| 8 | | | 別紙 3(2/6) | 大気質調査における道路交通の状況について、交通量調査地点は3地点とも断面交通量で宜しいでしょうか。また、交通量調査の車種区分をご教示ください。 | 交通量調査は、方向別交通量を想定している。車種区分は、大型車・中型車・小型貨物車・乗用車の4区分を想定している。 |
| 9 | | | 別紙 3(3/6) | 振動調査における地盤卓越振動数調査について、調査は平日、休日の2回行うという想定でしょうか。 | 平日、休日の各1回を想定している。 |
| 10 | | 代価表No.11 | 別紙 3(3/6) | 水質調査における濁水の状況について、分析数量が4検体となっているため、降雨時1回当たり1地点1検体の採取分析で宜しいでしょうか。 | 降雨時2(地点/回)×1(検体/地点)×降雨2(回)より、4検体を想定している。 |
| 11 | | 代価表No.11 | 別紙 3(4/6) | 水質調査における底質について、代価表ではダイオキシン類分析2検体となっていますが、別紙3では有害物質となっています。底質調査方法の指定有害物質とダイオキシン類を分析すればよろしいでしょうか。 | 底質調査での分析は、ダイオキシン類のみの分析費を想定している。 |
| 12 | | | 別紙 3(4,5/6) | 動物の調査項目ごとで各季節の調査日数をご教示ください。 | 動物の調査項目ごとに各季節1日を想定している。 |
| 13 | | | 別紙 3(4,5/6) | 動物の調査項目ごとで夜間調査の実施を想定していますでしょうか。 | 想定していない。 |
| 14 | | | 別紙 3(4/6) | 哺乳類のトラップの設置は、樹林、草木に各1地点でしょうか。また、トラップの地点ごとの設置数、設置日数をご教示ください。 | 哺乳類のトラップの設置は、樹林、草地各1地点に20トラップ1晩を想定している。 |
| 15 | | | 別紙 3(5/6) | 猛禽類の1営巣期、2営巣期ともに調査月は、1月～8月(計8回)でしょうか。また、各月の調査日数、定点数をご教示ください。 | 猛禽類の1営巣期、2営巣期ともに調査月は1月～7月(計7回)を想定している。各月1日、2定点を想定している。 |

| 番号 | 公告 ページ | 仕様書 ページ | 図 面 番 号 | 質 問 事 項 | 回 答 |
|----|-----------|------------|--------------|--|---|
| 16 | | | 別紙 3(5/6) | 昆虫類のトラップの設置は、樹林、草木に各 1 地点で しょうか。また、トラップの種類、トラップの地点ご との設置数をご教示ください。 | 昆虫類のトラップの設置は、ベイトトラップ（樹林、草 地に各 1 地点ずつ、1 地点当たり 20 個を 1 晩）を想 定している。 |
| 17 | | | 別紙 3(5/6) | 植物の調査項目ごとで各季節の調査日数をご教示く ださい。 | 項目を分けず植物調査として各季節 1 日を想定してい る。植物の植生については、お見込みのとおり、植物相 調査に併せて夏季～秋季に 1 回行うことを想定してい る。 |
| 18 | | | 別紙 3(5/6) | 植物の植生の調査時期は、一般的な時期として夏季 ～秋季に 1 回を想定していますが、早春季・春季・夏 季・秋季の 4 回実施を想定していますでしょうか。 | |